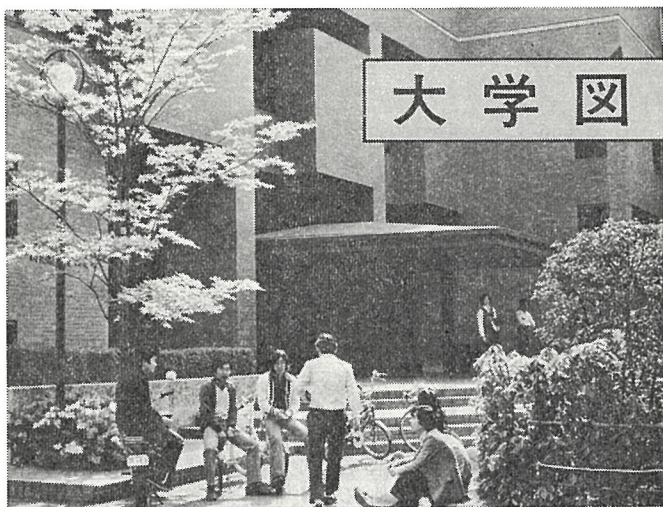




大学図書館

紹介

米国立ワシントン大学歴史学
教授 Arthur Bestor 氏は、『……

私の母校イエール大学がどのようにして創立されたかといいますが、一七〇一年コネティカットの何人かの牧師たちがそれぞれの蔵書をもちより、それをテーブルに置きながら、「私は、この植民地に大学を設立するために、これらの書物を寄贈する」と述べたときに、その歴史がはじまったといわれています。……』と述べられているが、同志社においても同じようなことが考えられる。

同志社九十年小史によれば、『……明治八年十一月デヴィスの協力によって京都市上京区寺町丸太町上ル松蔭町高松邸に開校した

同志社英学校は、生徒僅かに八名の小塾で、開校の際はまだ図書室を設けていなかったが、この時より新島は個人の蔵書を生徒に公開してこれを図書館に代用した……』とあるが、イエール大学と同じように、同志社大学図書館の歴史も、同志社の創立とともに始まったといっても過言ではないであろう。

現在の図書館の建物は、昭和四十八年十一月末に竣工したもので、地上三階地下二階の鉄筋コンクリート造り（一部鉄骨鉄筋コンクリート）で、延床面積約九、二〇〇㎡、閲覧座席数約一、二〇〇席、図書収容力約七十万冊となっていて、冷暖房をはじめ近代的諸設備が完備され、快適な環境が維持されるように配慮されている。

基本設計者栗原嘉一郎氏は、この図書館の主な特徴として次のように述べている。

「書庫を下層（地階）と上層（三階）に設け、この間に資料群と関係の深い諸室をはさみこむという手法、即ち、変形サンドイッチ形式を採用して機能化を計るとともに、インテリヤは、吹抜けと床レベルの変化を多用し、照明についても、蛍光灯・白熱灯・

自然光等の調整をはかり、断面の変化に応じてルーバー方式を採用し、室の性質に応じて落ちつきや緊張感や安らぎの感じなどをだすように考えた。外部のデザインは、重要文化財のチャペルを含む伝統的なキャンパスに留意し、レンガタイルを使用し、既存の建築群との調和を考え、騒音と西日を遮るために柱を一切表現せず、壁面として表現した。」と。

この図書館は、三階が未仕上げであったが、建築上の企画・設計・施行の三点において、優れたものとして、全国応募作品五〇〇件のうちの十六件のひとつに選ばれ、昭和五十年に、「第十六回 BCS PRIZE WORKS — (BUILDING CONTRACTORS SOCIETY, JAPAN)」を受賞したことは、誠に異例ともいえるべきことであろう。なお、三階については、昨年暮れより大学院読書室、一般書庫、貴重図書室等の工事に着手し、本年四月末に完成した。

利用者の便を考えて、開架方式が中心となっており、開架閲覧室には、約五万冊の図書が配列され、学部学生諸君の学習に必要な図書は、ほとんどここで充足できるよ

うに配慮されている。又、教員の指定図書もしくは推薦図書ともいえるべき学部父兄会文庫等の図書も含まれている。

雑誌・参考図書室には、約三五〇タイトルの新刊雑誌と約四、〇〇〇冊の参考図書が配列されている。その他、中庭に面した閲覧室や、ラウンジ式で、グループでディスカッションのできる読書室や、キャレル式の閲覧室等があり、各室ごとに変化をもたせている。書庫には、約二十数万冊の図書があり、すべて教職員、学生諸君の利用に供されている。AV室には、各種のAV機器を設け、レコードもクラシック音楽を中心として約二、〇〇〇枚をとり揃えてい



建築業協会賞表彰パネル

る。平常は、FM放送の音楽を流しているほか、随時レコードコンサート、映画会、講演会などを催している。

又、専門の参考係がいて、学生諸君の読書相談や文献探索等の質問に応じている。

貴重図書室には、和書——一六二三年まで、漢籍——朝鮮本——一五六六年まで、洋書——一七〇年代までにそれぞれ印刷された図書又はこれに準じる貴重な図書、特殊文庫として特に貴重なもの等が配架されている。

図書館の年間の利用者数は、延約一二五万人の多数にのぼっており、全学で、蔵書数約七十三万冊、年間増加冊数約四万数千冊に及ぶ図書の受け入れ・整理等も行っており、本学の学術情報センターとして、教育・研究上における重要な役割をになっているのである。(前川嘉門・大学文学部事務局長・前大学図書館閲覧課長)

(参考文献)

- 一、同志社アメリカ研究 第六号 「大学の理念と図書館のあり方」(同志社大学アメリカ研究所編訳)
- 二、同志社九十年小史 「大学図書館」
- 三、丸善No.101 ライブラリーニュース 「同志社大学図書館の建築について」栗原嘉一郎